

# 福岡県における

## 幼児教育の現状

### 公立幼稚園の状況

黒木道子

#### 一、福岡県における幼児教育の関係諸団体

公立幼稚園 三〇園

私立幼稚園 二八五園

公立保育所 一八七園

私立保育所 二九七園

合計七九九園の園数で

公立幼稚園は、福岡県公立幼稚園協会

私立幼稚園は、福岡県私立幼稚園協会

保育園は公私立合同で福岡県保育所連盟の名称で、各独立した組織のもとに、各々の団体において、年間計画をたて、研修と親睦を計っている。

#### 二、福岡県公立幼稚園協会の活動状況と問題点

##### (1) 研修状況

各学期ごとに一回ないし、二回県下四地区まわりもちで、福岡県及び開催地区教育委員会共催のもとに、保育の実際を加えた研修会などを開催し、現場職員の高の向上を計っている。なお園長会も各地区まわりもちで開催し、主として企画運営について話し合い、各地区における幼稚園教育の推進をはかっている。しかし県下の国立大学には、まだ幼稚園教員養成課程及び付属幼稚園が一所も、設置されていないので、教員養成や、現職教育充実のためにも国立大附属幼稚園の設立を要望し続けている。

また、県及市町村において、研修費の予算が僅少であるため、研究の推進をはばんでいる感がある。

研修についての指導者は、地方大学及び、地元学芸大学、県市町村の指導主事らの指導を受けているが、今後せつに、指導体制の強化を、希望する声が大きいの。なお、現在使用の年間指導計画を、再検討して、これを足がかりとし、新教育要領を参照の上、新しく年間教育計画の作製に着手する予定である。

##### (2) 幼・小の関連

###### ○幼稚園、小学校の相互参観

小学校における指導は、教科的、系統的であるが、幼稚園教育においては、領域はしめられているとはいえず、生活指導が主であるため、小学校の準備教育のための幼稚園教育にならないように、指導計画を作製すべきである。知的教育をのぞみがちな家庭に対しては、両親講座、保育参観、幼稚園教師との話し合いを緊密にするな

どの方法がとられている。なお小学校へもよびかけ幼稚園における保育状況参観、また幼稚園教師も小学校低学年の授業を参観し、相互の話し合いなどの機会を通じ、幼稚園教育の本旨につきじゅうぶ理解してもらおうよう努力がなされている。

### ○指導要録について

入学当初の小学校における指導においては、特に幼稚園指導要録が、重要な資料であり、よりどころだとして活用されているところも少なくないが、まさきほど重要視されていないところもあり、小学校における認識は未だじゅうぶんとは言えない。これをもっと活用してもらおうよう幼小連絡会などで強調している。

### 三、現在当面しているその他の主要問題

#### (1) 三年保育実施について

研究的には実施してみたい希望の園もあるが施設面、予算面、教員増などの問題にて、現段階においては、実施はまだ難しい現状である。二年保育も都会地においては、希望者が多いにもかかわらず、全員収容されていない現状である。しかし近い将来において、二年保育を全般に及ぼし、三年保育についても、研究的に実施したい希望の声は高い。

#### (2) 経営管理について

待遇問題については、地域によって、いろいろな差が見られる。特に経済的に困難な市町村では、幼稚園教諭の身分が、市町村公務員であるため、退職基準年令が、はなはだしく引き下げられ、給与の面にも大きな影響を与えている現状である。幼稚園が義務化され

るのも近い将来であろうが、この幼稚園教育の現場教諭の不安をとりのぞき、教師自身の質の向上を計るためにも、是非とも、平衡交付金の使途の面において、公立幼稚園教諭の身分保証の補助として使えるよう、条例化していただくことを切に祈っている。

#### (3) 公立幼稚園新增設について

従来県も各地区も公立幼稚園の必要性はじゅうぶんに認めているが、予算その他いろいろの問題があり、新增設は困難な状況であった。しかし、先般来幼稚園教育振興七ヵ年計画が、文部省より発表され、つづいて幼稚園教育要領も改訂され、昭和三十九年度より、いよいよ実施されるはこびとなったそれも刺激となつてか、一般社会に、より以上の関心度が高まっているようで、県下の幼稚園教育施設の皆無な地区においても、自発的に、陳情、請願の運動が行なわれている情報も多数聞いている。このように、長年祈りつづけてきた新增設の問題が、幼稚園教育振興の声とともに、論議され、その機運も福岡県下全域において、日ごとに高まりつつあることは心から喜びにたえない次第である (北九州市立小倉幼稚園)

## 私立幼稚園の状況

### 木村 栖 静